

早良区の保健所を廃止

12月議会で高島市長が強行

昨年12月議会で、早良保健所を廃止し、福岡市の7区の保健所を中央区の「あいれふ」に「一元化」、つまり7つの保健所を1つに統廃合するための諸議案が突然提案され、会派では共産党のみが反対しましたが、可決されました。

中山市議が追及

では会派共産党のみ反対



中山いくみ
市議会議員(早良区)

日本共産党

早良区民報 / 2024年1・2月号(議会報告) / 発行:日本共産党福岡市議団 福岡市中央区天神1-8-1 議会棟13F / 電話092-711-4734 / FAX092-741-4627 / メール info@jcp-fukuoka.jp / http://www.jcp-fukuoka.jp

●Twitter
nakayamaikumi
●ライン公式→
●ホームページ
http://nakayama-ikumi.jp



お困り事は無料生活相談を

- 毎月第2金曜日19時～中山いくみ事務所(飯倉5-14-51-103)
- 隔月第3木曜日19時～四箇田団地集会所
- 電話092-711-4734(随時)

政令市の保健所の数

(2)指定都市名	(20)本所
札幌市	1
仙台市	1
さいたま市	1
千葉市	1
横浜市	1
川崎市	1
相模原市	1
新潟市	1
静岡市	1
浜松市	1
名古屋	1
京都市	1
大阪市	1
堺市	1
神戸市	1
岡山市	1
広島市	1
北九州市	1
福岡市	7
熊本市	1
小計	26

体制強化こそ必要だ!



質疑する中山市議

しかし、これまで各区保健所で行われていた精神保健福祉や難病などの業務が一本化されることでサービスは後退し、感染症などの危機管理能力の低下も懸念されます。中山市議は、一元化の真の狙いは合理化、人員・経費削減に他ならないと追及しました。

だましうちのようなやり方は問題だ

市は事前に市民にも議員にも、法令により設置された早良保健所運営協議会(会長は中山市議)にも知らせませんでした。

中山市議は、だまし討ちのようなやり方で議案を出して1週間の議会で結論を出せというのは明らかに進め方に問題があると批判しました。

高島宗一郎市長は批判に一切耳を貸さず、保健所二元化を進めると表明しました。

本当のねらいは人員・経費の削減

福岡市は政令市で唯一7行政区全てに保健所があり(右下表)、コロナ禍では体制不足で業務がひっ迫しながらも、大きな役割を果たしました。

中山郁美市議は、昨年12月11日に福岡市議会の議案質疑に立ち、保健所の統廃合をする議案について、市民の声を一切聞かずに強行することは許されないと批判し撤回を求めました。

医師会との協議は廃止方針決定後!

事実上の「通告」だ

“統廃合は専門家である市医師会からも意見をしっかり聞いた”と言い訳する福岡市。

ところが、市が医師会と初めて公式協議をしたのと、市が統廃合の方針を決裁したのが同じ日であることが、中山市議の委員会質問で判明。実際には決裁後に協議をしていたことが質問でわかりました。

これでは事実上の廃止方針の「通告」です。“統廃合先にありき”の市長の異常さが、中山質問で浮き彫りになりました。

中山質問で明るみに

↑中山市議の調査で明らかになった決裁文書

撤回させよう!

今からできる



「福岡市から政治をかける会」などの市民団体は市役所で会見。感染症などの対応には保健所の維持と人員の拡充が重要だとして市に対して計画の撤回を求める申し入れを行いました。

新年度までに今からでも声をあげ、運動の力で方針を撤回させましょう。

市民の批判広がる

世界水泳のヤミ あばく

昨年の夏開催された世界水泳福岡大会※は、福岡市の負担が当初の3倍の120～130億円に膨れ上がりました。また、来訪者数は独特の計算で「水増し」され、実際にはその半分の人しか来ていないことなどが、中山郁美市議の質問で判明しました。

世界水泳の30mの飛び込み台（中央区）

日本共産党の中山郁美市議は、昨年9月19日の決算特別委員会の総会質疑でこの問題を取り上げました。

実際の来訪者は市発表の半分と判明

1人が1週間滞在したら7人として集計、飲食店などが並ぶ「Fukuoka Ichiba」に同じ人が何回も訪れた場合に回数分延べ人数として集計…などの数字のマジックを使った来訪者数であると指摘。実際の来訪者は約24万5千人だと答弁し、市発表の半分だったことが明らかになりました。

大会期間中に天神周辺店舗などの来客数が逆に減った例も質問で紹介。見るべき経済波及効果はなかったとたたきました。

大阪万博にまで福岡市が乗り出す

また、当初の3倍に膨れ上がると言われていた市の負担や「電通」などへの「成功報酬型」の報酬額などがイベント終了後も発表されておらず、早急に明らかにすべきだと批判しました。

さらに高島市長が突然「大阪・関西万博」への参入を表明。中山市議は、カジノ建設計画と一体で進められている「万博」に市民の税金をつぎ込むことは許されないとし、イベント行政にうつつを抜かすのではなく、市民の暮らしの大変さに真摯に向き合えと迫りました。

えっ!! 早寿園高齢者のお風呂廃止強行

「なくさないで」の署名を無視

早良区の早寿園など各区に設置されている老人福祉センターでは入浴事業（60才以上の市民などが無料で利用可）が行われてきました。市はこの事業の廃止を打ち出し、昨年12月議会で共産党以外の賛成で関連議案が強行されました。

中山郁美市議はこの問題を12月議会で質問。入浴事業は交流や健康づくり、物価高騰対策としても利用者のニーズが高く、「家庭に風呂があるので廃止する」は理由にならないと指摘しました。

また、入浴事業のことを知らない人も対象にしている高齢者実態調査の結果を持ち出して廃止の理由とするのは珍答弁だと批判し、関連議案は撤回して直ちに入浴事業を再開すべきだと迫りました。

2670筆

廃止をやめるよう市に要望する市民と同席した中山市議ら（昨年11月）
質問する中山市議（昨年12月）